

M-GTA 研究会 News letter no.52

編集・発行：M-GTA 研究会事務局（立教大学社会学部木下研究室）

メーリングリストのアドレス：grounded@ml.rikkyo.ac.jp

研究会のホームページ：<http://www2.rikkyo.ac.jp/web/MGTA/index.html>

世話人：阿部正子、小倉啓子、木下康仁、小嶋章吾、坂本智代枝、佐川佳南枝、竹下浩、塚原節子、都丸けい子、林葉子、水戸美津子、三輪久美子、山崎浩司（五十音順）

<目次>

◇第一回合同研究会アンケート結果

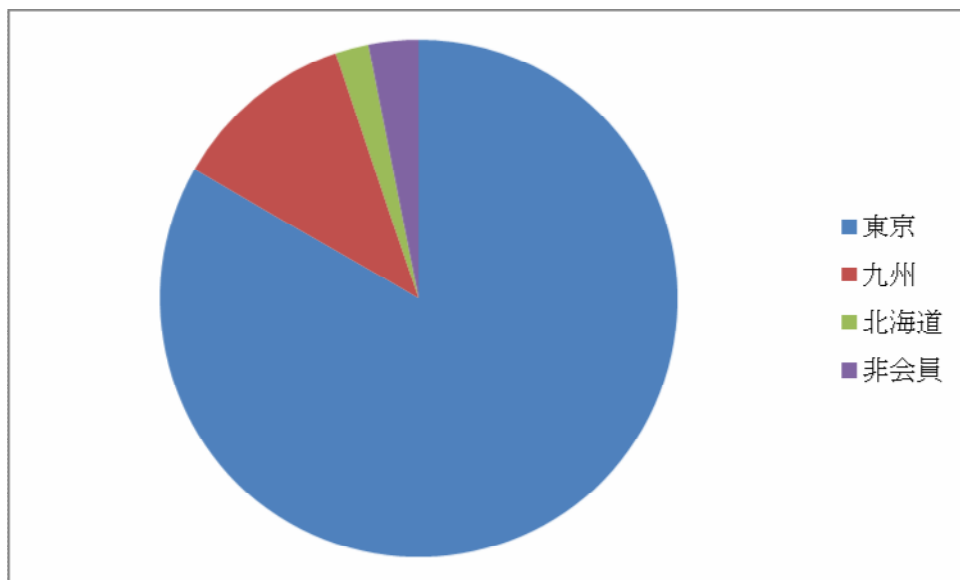
◇次回研究会のご案内

◇編集後記

◇第一回合同研究会アンケート結果

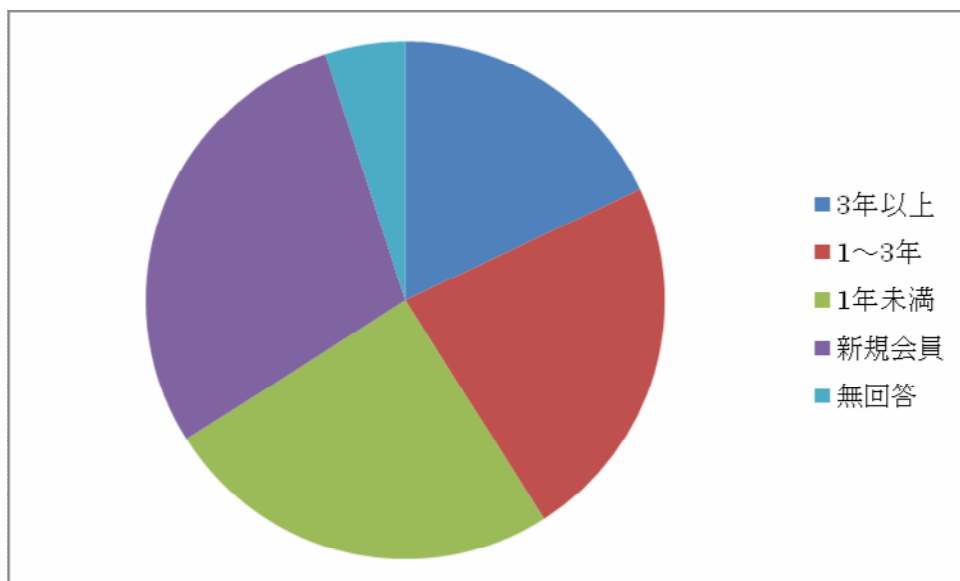
昨夏、8月28日・29日に川崎医療福祉大学で開催された M-GTA 研究会第1回合同研究会のアンケート結果です。56名にご協力いただきました。

Q.所属研究会



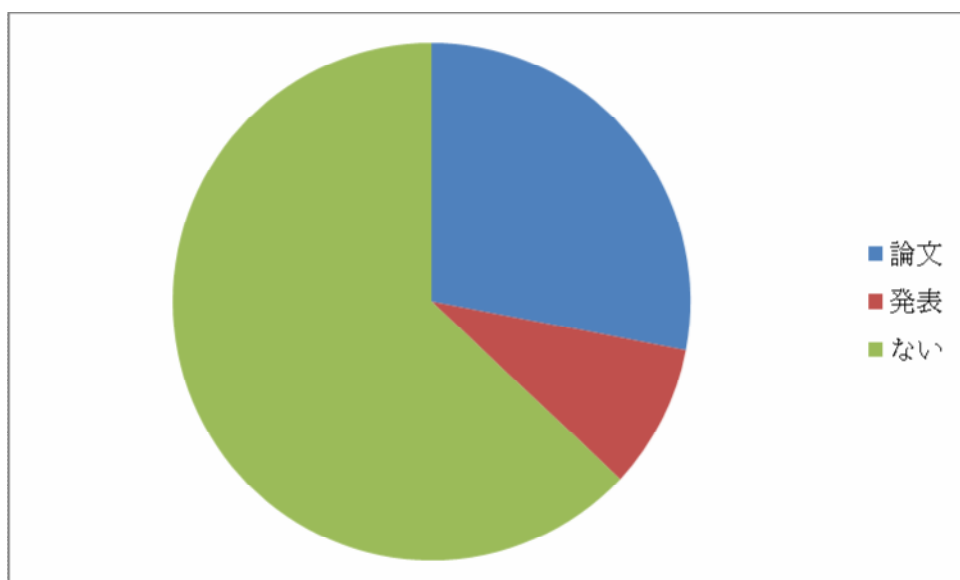
東京	44 (80%)
九州	6 (11%)
非会員	4 (6%)
北海道	2 (3%)

Q.M-GTA 研究会に所属してどのくらいになりますか



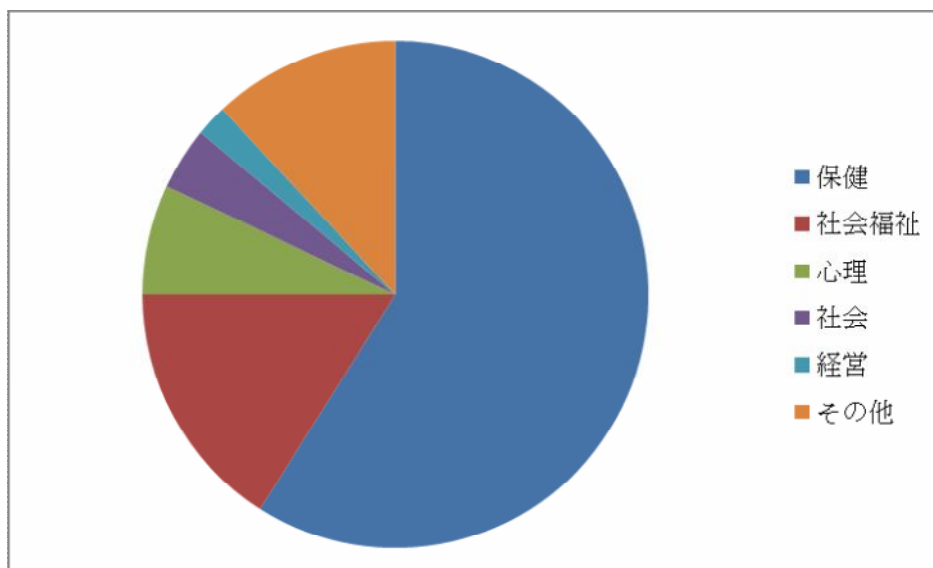
3 年以上	10	(18%)
1～3 年	13	(23%)
1 年未満	14	(25%)
新規会員	16	(29%)
NA	3	(5%)

Q.M-GTA の活用経験



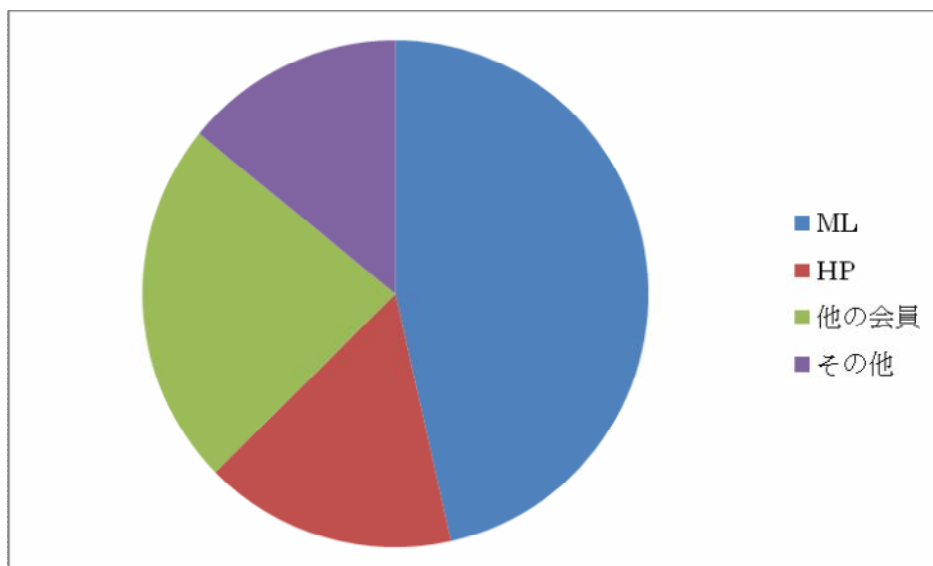
論文	16	(28%)
発表	5	(9%)
ない	35	(63%)

Q.専門分野



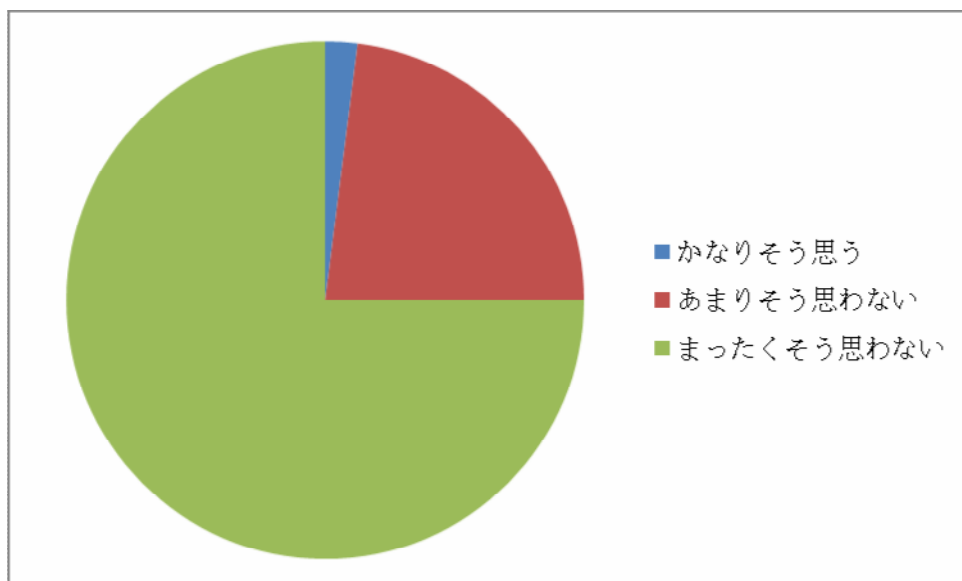
保健	33	(59%)
社会福祉	9	(16%)
心理	4	(7%)
社会	2	(4%)
経営	1	(2%)
その他	7	(12%)

Q. 今回の合同研究会について、どのようにお知りになりましたか



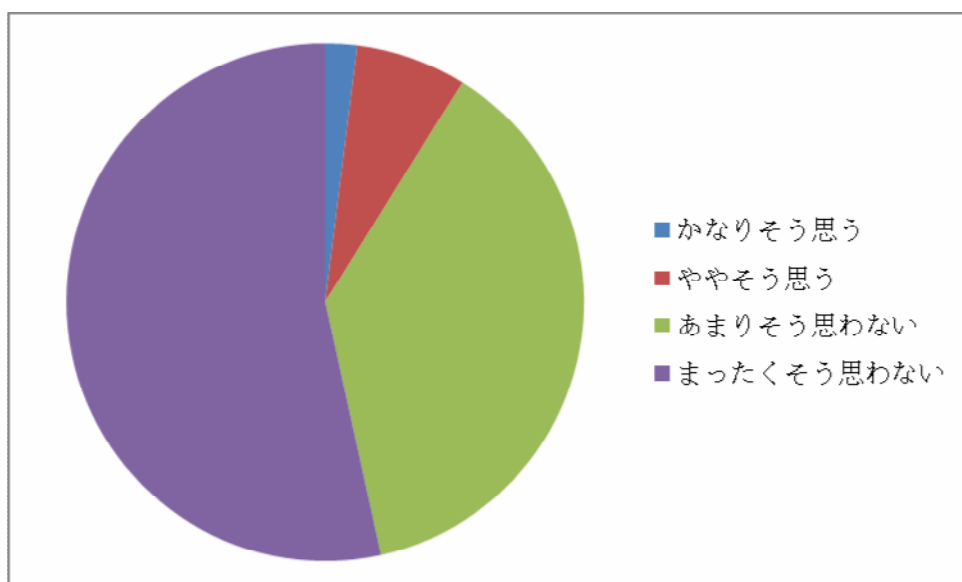
ML	26	(46%)
HP	9	(16%)
他の会員	13	(23%)
その他	8	(14%)

Q.参加費(3千円)は高すぎる



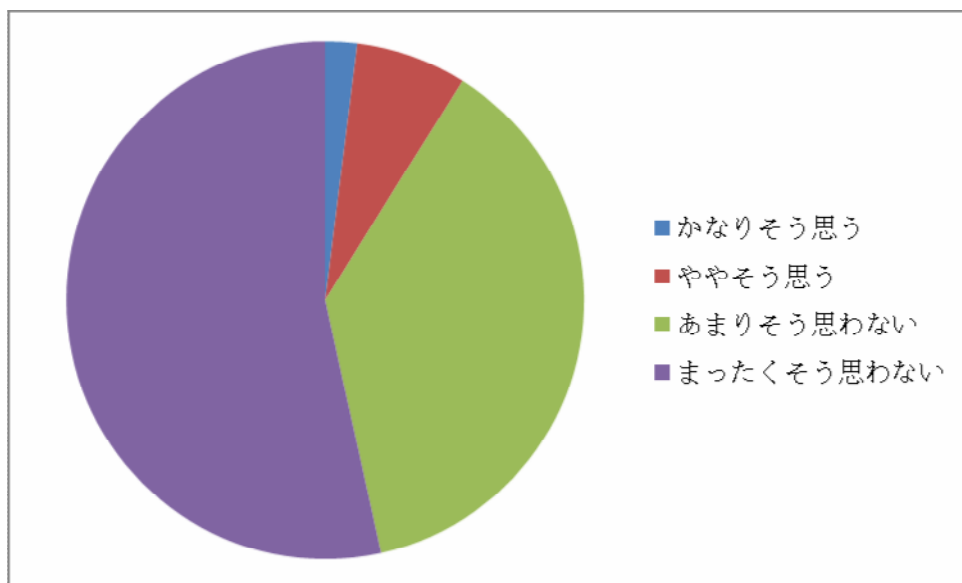
かなりそう思う	1	(2%)
ややそう思う	0	(0%)
あまりそう思わない	13	(23%)
まったくそう思わない	42	(75%)

Q.参加申込手続きは不便である



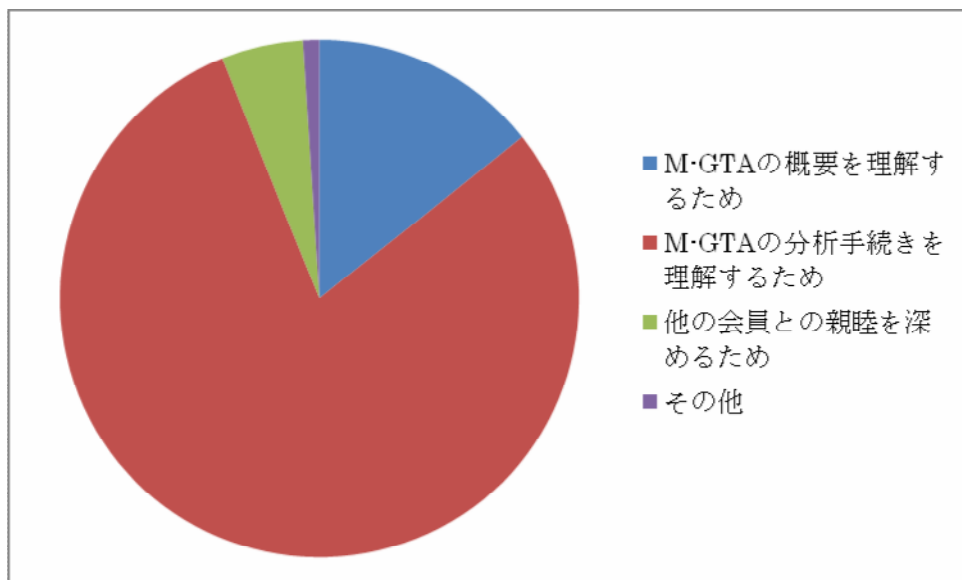
かなりそう思う	1	(2%)
ややそう思う	4	(7%)
あまりそう思わない	21	(38%)
まったくそう思わない	30	(54%)

Q.合同研究会は平日に参加すべきである



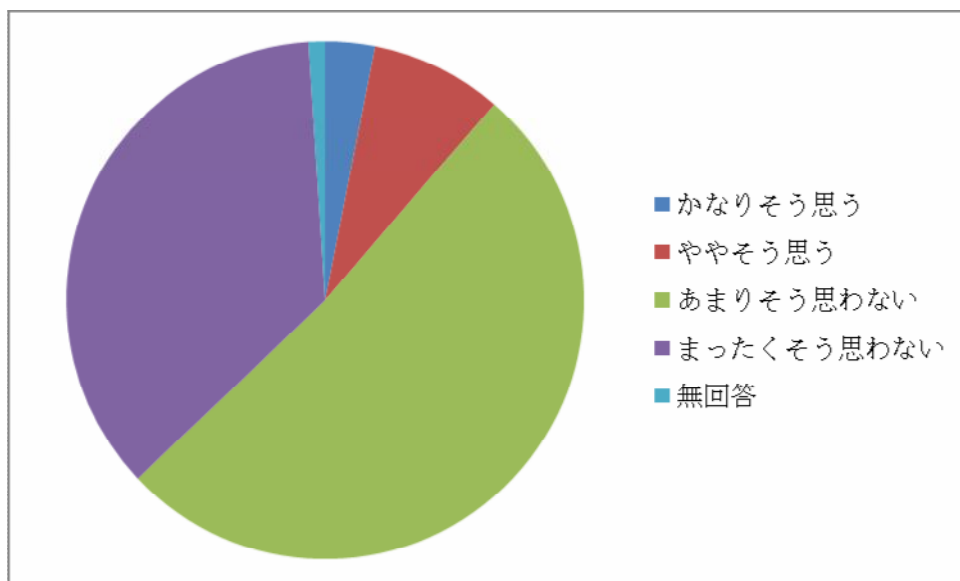
かなりそう思う	1	(2%)
ややそう思う	4	(7%)
あまりそう思わない	21	(38%)
まったくそう思わない	30	(54%)

Q.合同研究会に参加しようと思った理由は何ですか



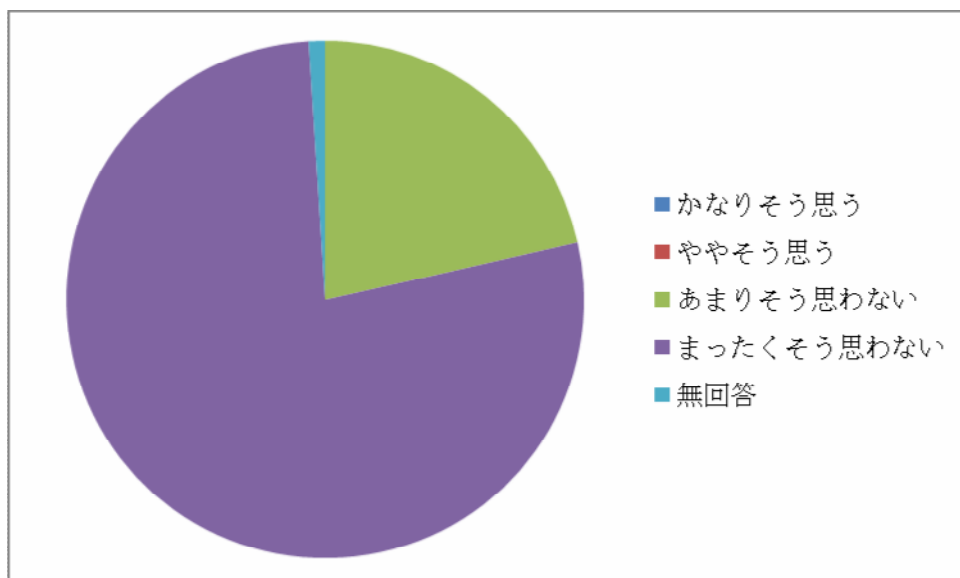
M-GTA の概要を理解するため	8	(14%)
M-GTA の分析手続きを理解するため	44	(78%)
他の会員と親睦を深めるため	3	(5%)
その他	1	(1%)

Q.基調講演は難しかった



かなりそう思う	2	(3%)
ややそう思う	5	(8%)
あまりそう思わない	28	(50%)
まったくそう思わない	20	(35%)

Q.基調講演の時間は長かった



かなりそう思う	0	(0%)
ややそう思う	0	(0%)
あまりそう思わない	12	(21%)
まったくそう思わない	43	(76%)

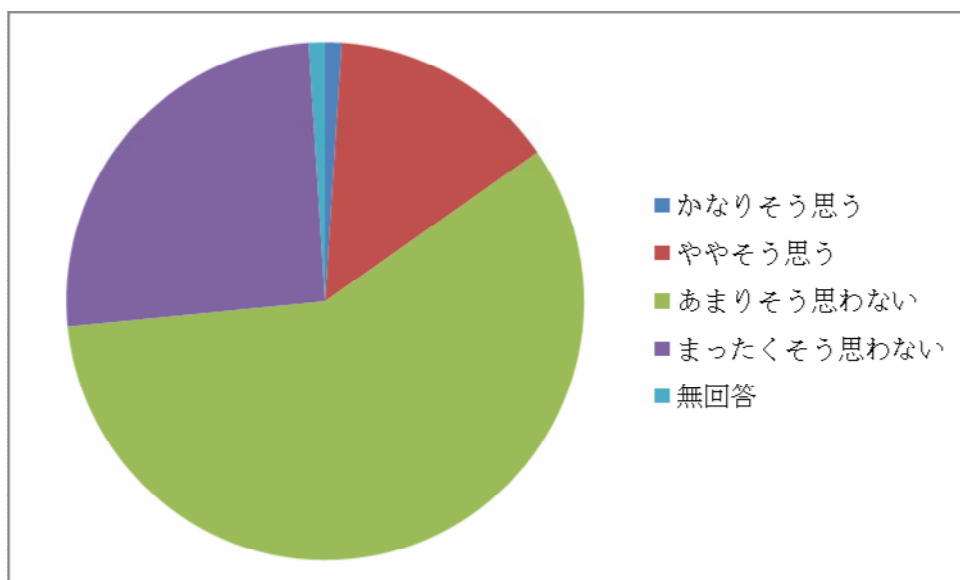
Q.基調講演：感想

<主な感想>

M-GTA の基礎、重要なポイントを押さえることができ、理解が深まった（26 名）

時間が短かった（10 名）

M-GTA に関する最新の内容を知ることができた（1 名）

Q.修論発表会は難しかった

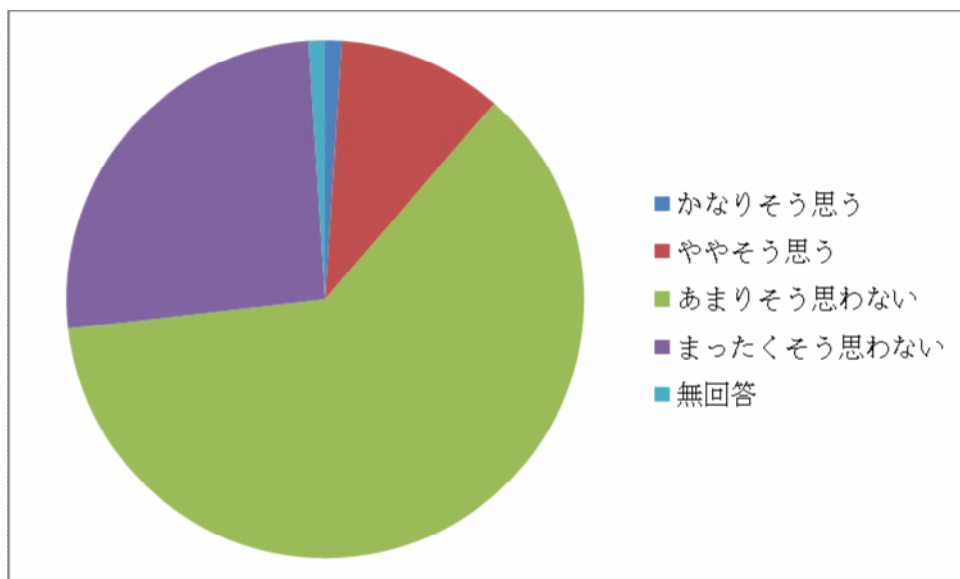
かなりそう思う 0 (0%)

ややそう思う 8 (14%)

あまりそう思わない 32 (57%)

まったくそう思わない 14 (25%)

Q.修論発表会の時間は長かった



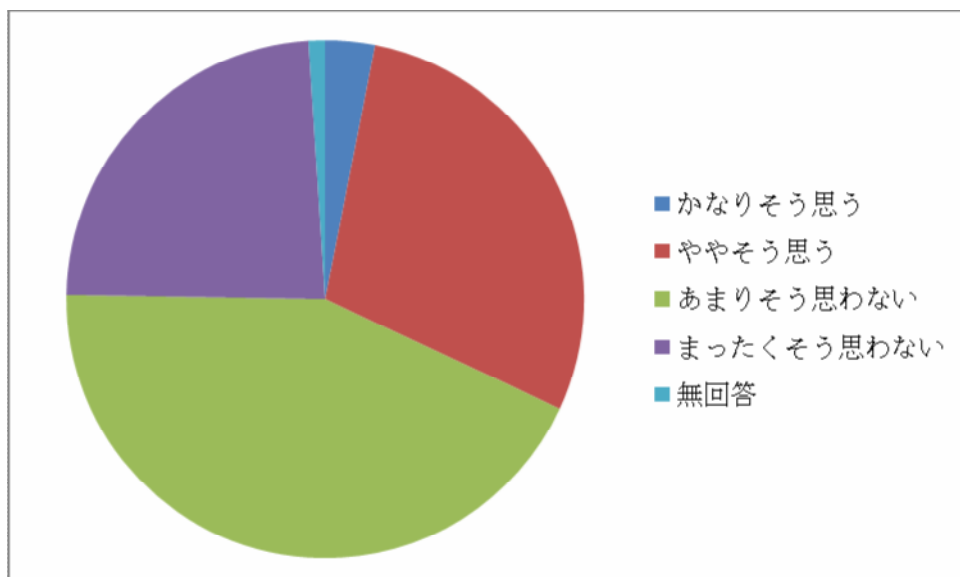
かなりそう思う 1 (1%)

ややそう思う 6 (10%)

あまりそう思わない 34 (60%)

まったくそう思わない 14 (25%)

Q.修論発表会で3つの発表は多かった



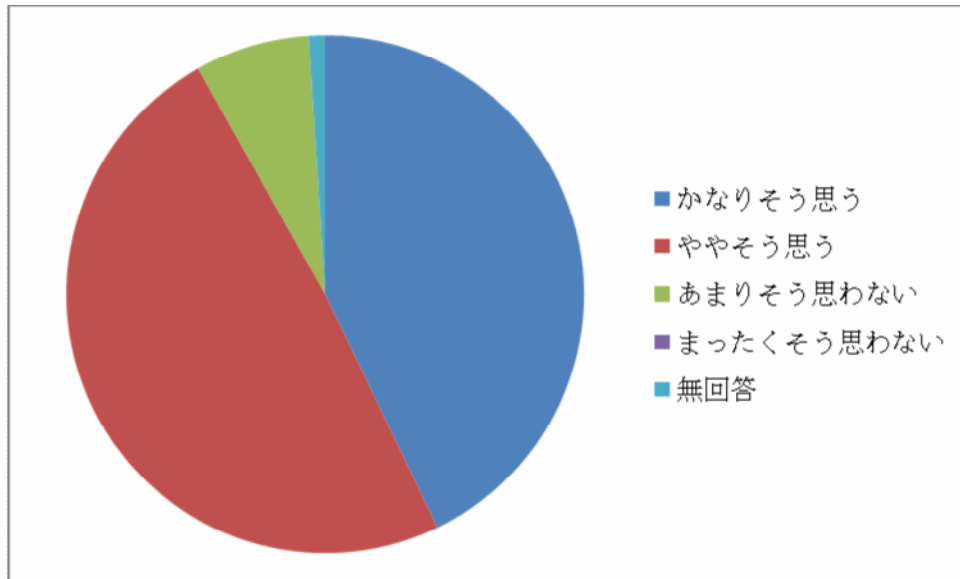
かなりそう思う 2 (3%)

ややそう思う 16 (28%)

あまりそう思わない 24 (42%)

まったくそう思わない 13 (23%)

Q.修論発表会でスーパーバイザーと発表者のやりとりから学ぶものがあった



かなりそう思う	24	(42%)
ややそう思う	27	(48%)
あまりそう思わない	4	(7%)
まったくそう思わない	0	(0%)

Q.修論発表会：感想

<主な感想>

SV と発表者のやりとりがわかりにくかった （4名）

発表時間をもっと長くしてフロアの質問を受け付けてほしい （4名）

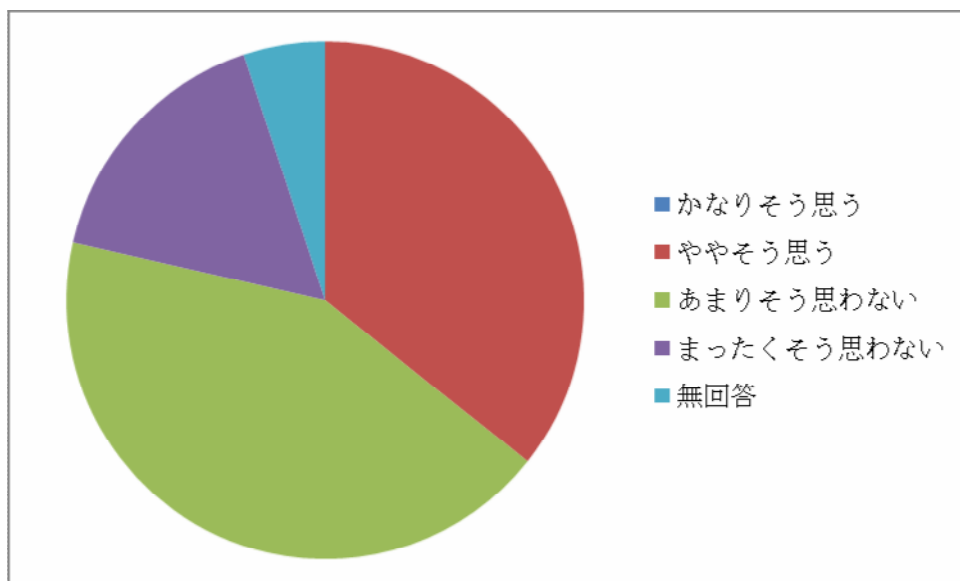
SV の質問がわかりにくかった （4名）

SV と発表者のやりとりが勉強になった （14名）

M-GTA の理解に役立った （3名）

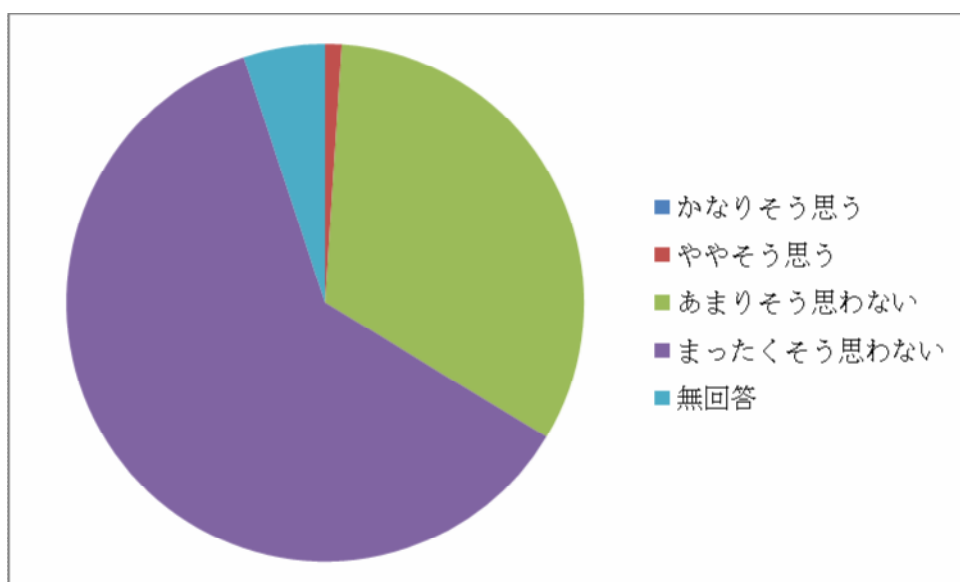
おもしろかった・良かった （2名）

Q. ワークショップは難しかった



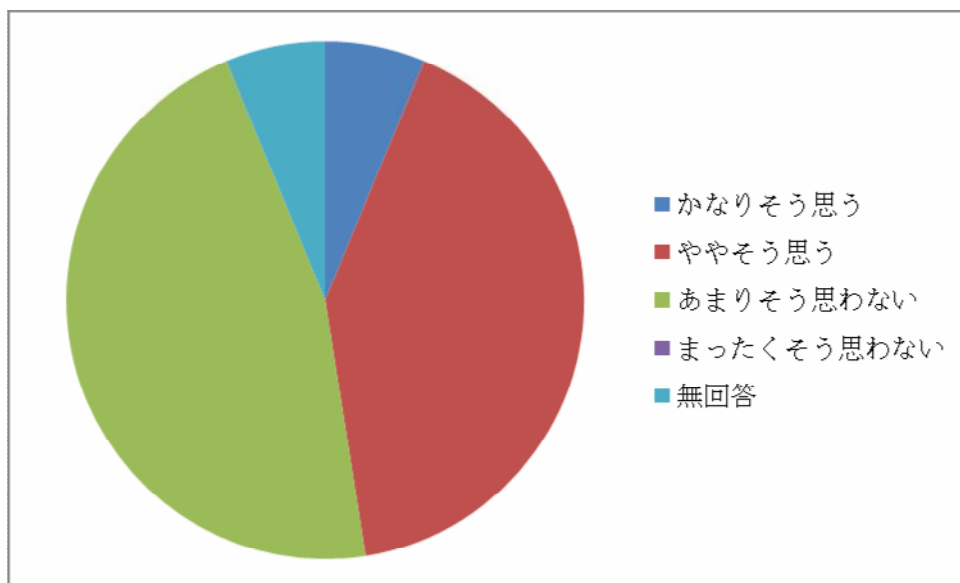
かなりそう思う	0	(0%)
ややそう思う	20	(35%)
あまりそう思わない	24	(42%)
まったくそう思わない	9	(16%)

Q. ワークショップの時間は長かった



かなりそう思う	0	(0%)
ややそう思う	0	(0%)
あまりそう思わない	18	(32%)
まったくそう思わない	34	(60%)

Q.ワークショップの各グループの人数が多すぎる



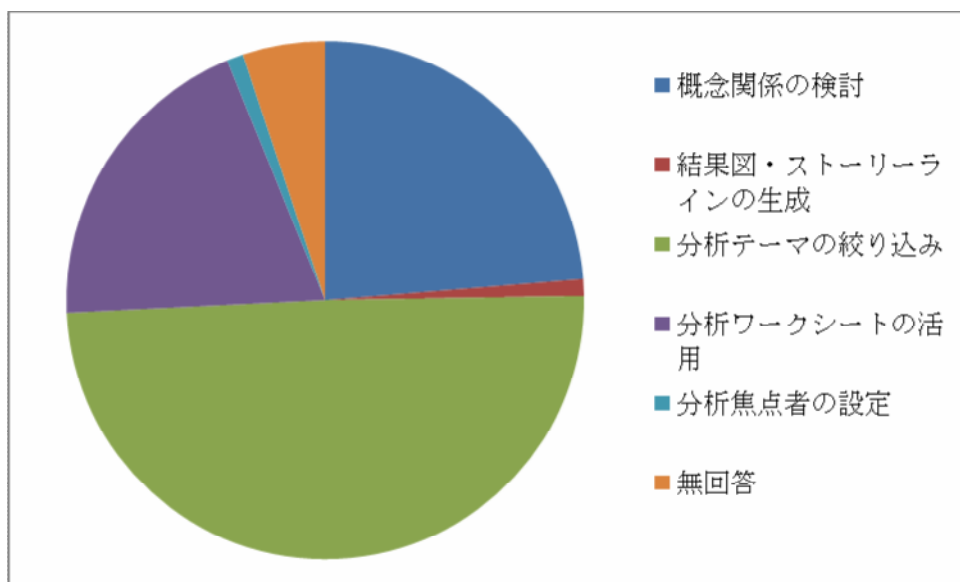
かなりそう思う 3 (5%)

ややそう思う 19 (33%)

あまりそう思わない 21 (37%)

まったくそう思わない 0 (0%)

Q.ワークショップで最も何について学びを深めましたか



概念関係の検討 13 (23%)

結果図・ストーリーラインの生成 1 (1%)

分析テーマの絞り込み 27 (48%)

分析ワークシートの活用 11 (19%)

分析焦点者の設定 1 (1%)

Q.ワークショップ：感想

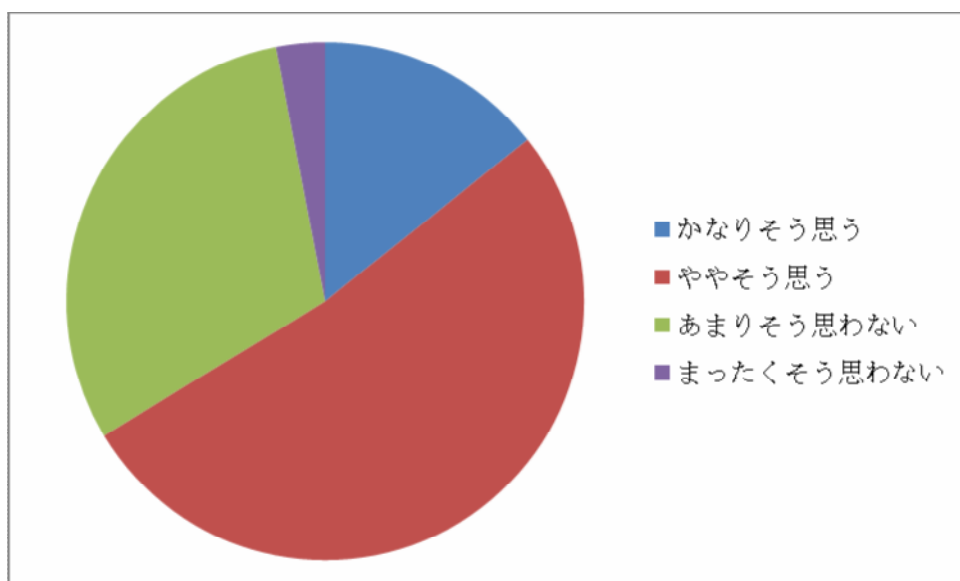
<主な感想>

時間が短い （14名）

勉強になった （24名）

気づけていないことに気付けた （4名）

作業の目標を丁寧に説明して欲しい （2名）

Q 他の会員と十分に交流できた

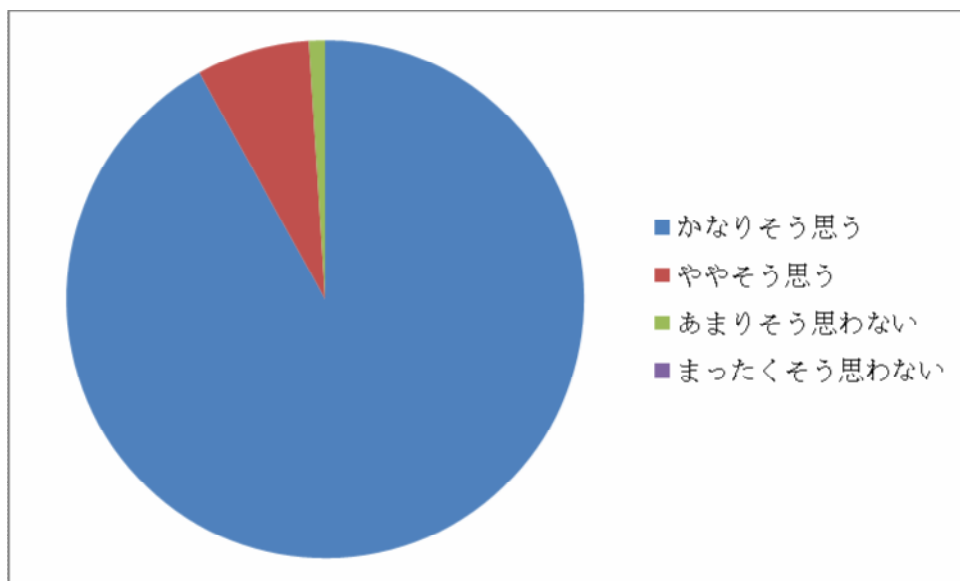
かなりそう思う 8 (14%)

ややそう思う 29 (51%)

あまりそう思わない 17 (30%)

まったくそう思わない 2 (3%)

Q.参加してよかったと思う



かなりそう思う	51	(91%)
ややそう思う	4	(7%)
あまりそう思わない	1	(1%)
まったくそう思わない	0	(0%)

Q.合同研究会全体の感想

〈主な感想〉

もう少し時間を取ってほしい (9名)

有意義だった・よかった (23名)

資料の配布や特定図書の連絡をもう少し早くしてほしい (2名)

第1回合同研究会アンケート集計コメント(山崎浩司)

アンケートの回収率は約50%でした。ご協力くださった皆さん、ありがとうございました。結果で注目すべきは、回答者の①専門分野、②研究会所属期間、③M-GTAの活用経験、④参加動機、⑤基調講演の難易度と時間、⑥修論発表会の時間とスーパーバイザーと発表者のやりとり、⑦ワークショップの難易度、時間、人数、学習内容、⑧他の会員との交流についてでしょう。

- ①. 回答者の専門分野は、定例研究会での傾向を反映するかのように、保健系と社会福祉系が多く、合計で回答者全体の4分の3を占めました。
- ②. 研究会所属期間については、新規会員が約3割と最も多かったのですが、1年未満25%、1～3年23%、3年以上18%と、全体的におおよそ均等であったようです。

- ③. M-GTA の活用経験については、経験がないと答えた方が 63%と多く、論文を書いたことがある方が 28%、発表されたことがある方が 9%でした。多くの初学者が参加して下さったことがわかります。
- ④. 今回の合同研究会への参加動機でもっとも多かったのは、「M-GTA の分析手続きを理解するため」(78%) でした。参加者の皆さんは、ワークショップへの期待が大きいのだろうということは事前に予測してはいましたが、それを裏づける結果となりました。
- ⑤. 木下先生の基調講演は M-GTA の基礎や重点が押さえられていて、とても理解が深まったとの自由記述回答が多々ありました。全体として難しいとは思わなかった方が 85%を占め、非常に適切な難易度設定であったようです。わかりやすかったこともあってか、講演時間が長かったと答えた方は誰もいませんでした。
- ⑥. 回答者の多くは修論発表会の時間が短く感じられた（あまり+まったく時間は長いと思わない=85%）ようで、もう少しゆったりとした時間設定が理想であったようです。一方、スーパーバイザーと発表者とのやりとりについては、9 割の方が学ぶものがあつたと回答しており、この形式がやはり望ましいことが確認できました。
- ⑦. ワークショップについては、少し難しいと感じた方が 35%いらっしゃいましたが、全体としては難しすぎず（まったく+あまり難しいと思わない=58%）、難易度の設定は適度であったようです。時間については、6 割の方がまったく長いとは思わなかったと回答していることから、どちらかというともっと時間がほしかったようです。人数については、多すぎると感じた方が 4 割弱おられたので、もう少し小さなグループに分けられたらよかったのかもしれない。ワークショップの内容では、約 5 割の方が「分析テーマの絞り込み」、それぞれ約 2 割の方が「概念関係の検討」と「分析ワークシートの活用」について、もっとも学びを深めたと回答されました。「結果図・ストーリーラインの生成」まで至ることができなかったグループが多かったことを反映してか、この点についてもっとも学びを深めたと答えた方は 1%にとどまりました。
- ⑧. 今回の合同研究会は、各地方で活動する M-GTA 研究会の会員が一堂に会し、交流を深めることがひとつの目的でした。この点については、他の会員と十分に交流できなかったとの回答が 3 割強あつたことから、若干の課題を残すことになりました。

総合評価としては、参加してよかったと思った方が回答者全体の 98%（かなり+ややそう思う）を占めていました。今回は高い評価となりましたが、改善点も確認できたので、次回はさらによい会となるよう、会員同士で協力しあっていければと思います。

◇次回（第 57 回）定例研究会のご案内

【日時】3 月 5 日(土 : 13 : 00~18 : 00/最大)

【場所】立教大学（池袋キャンパス）

【内容】（別途ご連絡させていただきます）

参加登録は下記のURLからお願いします。

<https://ssl.formman.com/form/pc/b3CxMmk5a5Nz3ngQ/>

◇編集後記

・春が近づいてきたと思ったら一気に真冬に逆戻りですね。久々に雪を踏んで歩きました。さて、今号は夏の合同研究会の参加者の方々にお願いしたアンケートの特集でした。ご報告が大変遅くなり申し訳ありません。山崎さんにアンケート集計のコメントをお願いしました。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。次回の合同研究会の参考にさせていただきます。(佐川)